



かんじきクラフト体験会

場所:豊岡市竹野町竹野
誕生の塩工房
日時:平成26年1月18日(土)



開会挨拶

1月18日(土)に豊岡市竹野町にある誕生の塩工房にてかんじきのクラフト体験会を行いました。

今回はイベントの目的は地域に自然物を利用したクラフトの魅力と根付く雪国の文化について学ぶことです。

はじめに自然保護官から開会挨拶があり、講師の紹介、また会場となった誕生の塩工房についての説明がありました。

今回の工程

今回のかんじきクラフト体験会は大きく分けて竹を適当な厚さに「削る」作業、お湯で竹を「煮て」柔らかくする作業、柔らかくした竹を「曲げる」作業、曲げて固定した竹に紐をかけて「編む」作業の4つの工程がありました。

今回のクラフトでは、竹を削る電動鉋を使い竹はある程度削ってはありますが、より竹を曲げやすくするため、鉋を使用し微調整をします。



竹を煮る

微調整が済んだ後は竹を煮ていきます。

直径1mはありそうな大鍋でお湯を沸かし、そのお湯で竹を煮ていきます。鍋よりも竹の方が長いため、少しずつお湯に漬けて、写真のように、竹が全てお湯につかるようにします。

寒い日でしたので湯沸かし用の燃料と大鍋の蒸気が暖房も兼ねていました。



竹を曲げる



紐を編み込む

最後に曲げた竹に足をかけるための紐の編み込み作業を行います。曲げや削り、煮る作業では皆さん談笑しながら作業していましたが、編み込み作業に入ると、皆さん口数が減り、編み込み作業に集中しているようでした。編み込み作業が終わればかんじきは完成です。

5分程度竹を煮てやると次は今回のかんじきクラフトの最重要工程、曲げの作業に入ります。丸太を輪切りにしチェーンソーで切れ込みを入れて作った、かんじきの型に竹をはめ込んでいきます。はめ込んだ竹と型の間にくさびを打ち込み、型に竹をぴったり合わせた後、針金で竹を締めて固定できたら曲げ作業は終了です。

終了後のアンケートを見るとこの作業が難しかったと記入された方が多かったです。ただ、難しい分楽しかったという感想を記入される方も何名かいらっしゃいました。



参加された方の感想

子どもたちに教えたいとおもって参加しましたがとても良かったです。

難しかったが楽しかった。親切に教えて頂きました。楽しい半日でした。

色々指導ありがとうございました。

完成品使用例

写真は翌日に行ったかんじきウォークの様子です。自分で作ったかんじきで雪の中を歩く

主催	近畿地方環境事務所
参加者	11名